

ビル20周年記念 被災地応援企画

北区、写真や物産展

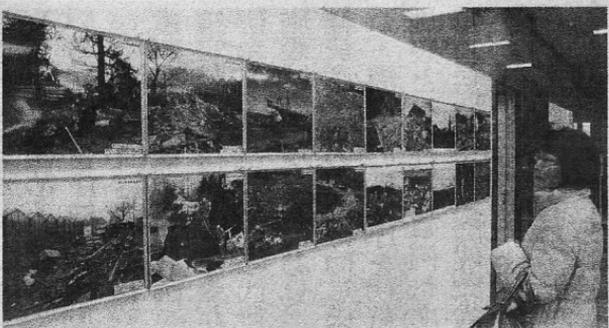
岡山市北区表町の複合ビル「岡山シンフォニービル」で20日、「東日本大震災復興支援キャンペーン」が始まり、被災地の現状を伝える写真パネルの展示や自治体職員らの活動報告などが行われた。22日まで。

昨年9月に同ビルが20周年を迎えたことを記念し、被災地を応援しよう企画。1階で、市や市社会福

祉協議会、自衛隊、日本赤十字社県支部から借り受けた約210枚の写真パネルを展示。特設のステージで被災地を支援した市水道局や消防局などの職員が活動を報告した。21、22両日には国際医療NGO「AMDA」や日赤が発表する。

岩手、宮城、福島 of 被災3県の物産展もあり、募金箱も設置。同ビルを管理す

る「表町第一開発ビル」の山本征雄統括部長は「岡山にいても、震災復興は他人事ではない。展示を見て、共感する気持ちを持ってもらいたい」と話していた。



被災地の写真パネルを見る来場者ら（岡山シンフォニービルで）